

成瀬の風

東成瀬村立東成瀬中学校

学校報：NO39 作成者：伊藤

発行：令和3年3月11日(木)

公立高校一般選抜問題 — 基礎学力、多角的に —

☆ 9日に行われた公立高校一般選抜学力検査では、各教科で基本的な知識を活用して解く問題が中心となりました。また、多角的に学力を見るため、時間をかけて考えたり表現したりする問題もありました。県教育委員会は各教科の平均点を52～62点と想定しています。

県内の教員は問題について、次のようにみています。1・2年生のために参考まで。

〈国語 ～新たな試みの問題も～〉

リスニングテストは開始と同時に約10分間。全体的に文章は複雑ではありませんが、設問によっては自分の言葉で表現する力が問われています。会話をういた出題が最近の傾向ですが、今年はそれだけではなく、表やポップ（広告）を用いて問題が作られました。全体を通しての難易度は例年並みの印象です。

〈数学 ～難易度例年並み～〉

学校による問題選択制を一部取り入れています。各学年の内容がまんべんなく出題されました。難易度は例年並みで、「中央値」や「最頻値」といった語句の意味、グラフの特徴、平行四辺形になるための条件など、知識を問う問題もみられました。

〈英語 ～表現力、読解力求める～〉

リスニングテストは開始と同時に約10分間。文法や語彙など基礎的な内容が問われた一方で、英作文や長文読解では高度な表現力や読解力が一部あり、難しさを感じた生徒がいたかもしれません。リスニングは、実際の会話を想定しており、しっかりと話の筋を把握する必要があります。

〈理科 ～分析力や思考力重視～〉

例年に比べ計算問題が少なく、問題文にちりばめられた情報をしっかり拾って解く問題が目立ちました。落ち着いて実験内容や結果を考えれば、難しくなかったのではないのでしょうか。実験の仮説を立て、検証する思考力を問う問題のほか、日常生活と結び付いた問題も、昨年度の続いて出題されました。

〈社会 ～資料読み解く力問う～〉

今年は記述問題が多く出題されました。昨年に引き続き、全ての分野で基礎的な事項や語句を問う問題が出題されたほか、資料やグラフから読み取る力、基礎的な知識をもとに文章として自分の言葉で表現する力が問われました。

あっぱれ 無欠席！

☆ 12日（木）、卒業式を前に、3年生に対して「皆勤賞」と「精勤賞」の表彰を行います。

- ◎皆勤賞（中学校3年間無欠席）
鈕持さん、鈴木さん
谷藤（優）さん
- ◎精勤賞（中学校3年時、1年間無欠席）
鈕持さん、佐々木（絢）さん
佐々木（陽）さん、佐々木（琉）さん
佐々木（零）さん、鈴木さん
高谷さん、谷藤（優）さん
土谷さん、伊勢谷さん
高橋（弥）さん、福地さん

この受賞は、自分一人の力だけでは難しい。やはり保護者の皆さんのおかげです。

我々は“大災害”を超えていける！

☆ 死者1万5,899人、行方不明者2,500人以上を出した東日本大震災から、今日で10年になりました。震災当時、不安、絶望、恐怖、寒さ、無力感、悲鳴に明け暮れる絶望的な被災現場の様子を新聞各紙が伝えていましたが、そういう記事だけではなかったようです。

- ▷ ディズニーランドでは、ショップのお菓子などが配給された。その時、ちょっと派手目な女子高生たちが必要以上にたくさんもらってて、一瞬「何だ！」と思った。けど、その女の子たちが避難所の子どもたちにお菓子を配っていたところを見て感動した。
- ▷ 避難所で、4人家族なのに「分け合って食べます。」と3つしかおにぎりを貰わない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に、日本人の誇りを見た。
- ▷ 父が明日、福島原発の応援に派遣されます。半年後定年を迎える父が自ら志願したと聞き、涙が出そうになりました。「今の対応次第で原発の未来が変わる。使命感を持っていく。」と。家では頼りなく感じる父ですが、今日ほど誇りに思ったことはありません。
- ▷ 避難所で、おじいさんが「これからどうなるんだろう？」と漏らした時、隣にいた高校生の男の子が「大丈夫！大人になったら僕らが絶対に元に戻しますから！」って背中をさすりながら言った。大丈夫！未来はある！
— 『日本一心を揺るがず新聞の社説2』から—

亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。